

ESA 上でバウンス検証をテストするにはどうしたらいいですか？

目次

[概要](#)

[ESA 上でバウンス検証をテストするにはどうしたらいいですか？](#)

概要

このドキュメントでは、E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) 上でバウンス検証 (BV) をテストする方法について説明します。

ESA 上でバウンス検証をテストするにはどうしたらいいですか？

AsyncOS は、null の送信元アドレス (<>) または <MAILER-DAEMON@domain.com> から送信されたメッセージを含むメールとしてバウンスを定義します。 BV が設定されているかどうかを確認するには、ESA 経由で null の送信元アドレスまたは MAILER-DAEMON@<domain.com> アドレスを含むテスト メッセージを送信できます。バウンス検証は、メッセージを「タグなし」バウンスと見なし、設定に基づいて処理します。

テスト メッセージは、ESA メール ログ内で、または、手動 SMTP カンバセーション中に確認することができます。

- Telnet を使用した ESA への接続

```
telnet esa.example.com 25
Trying 192.168.1.254...
Connected to esa.example.com.
Escape character is '^]'.
220 esa.example.com ESMTP
helo
250 esa.example.com
```

- null の送信者アドレスを使用した MAIL FROM コマンド

```
mail from:
250 sender <> ok
rcpt to: testuers@example.com
550 #5.1.0 Rejected by bounce verification.
```

- MAILER-DEAMON@test.com を使用した MAIL FROM コマンド

```
mail from: MAILER-DAEMON@test.com
250 sender <MAILER-DAEMON@test.com> ok
```

rcpt to: testuser@example.com

550 #5.1.0 Rejected by bounce verification.

リモート送信元が MAILER-DAEMON@ アドレスをスプーフィングする可能性もありますが、RCPT-TO アドレスが ESA 上で設定されたバウンス検証キーでタグ付けされていなければ、このメッセージはバウンス検証によってタグなしバウンスと見なされます。